

丸山湿原群保全の会会報

(第 227 号)

発行日：2026 年 (R8) 8 月 19 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail : maruyamashitugengun@gmail.com

戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します

7 月を飛ばしてしまいました。今年度に入りいろいろと「衝撃」的なことが続きます。4 月、坐骨神経痛による救急搬送。入院。7 月は身内の死。「生き物」は死ぬもの。「順番」も狂いなし。至極当たり前の「死」でした。年齢も 90 越え。しかし思いのほか大きなダメージがありました。

私は「あの世」なるものを信じてはいません「無」になると。「死は周りの人の問題」と言われたのは養老孟司さん。まさしく「周りの人」の私はバタバタ。遺体の搬送から葬儀の打ち合わせ、その間もドライアイスで冷え冷えの遺体はすぐ横に。遺体は何もやることはありません。(死んでいるのですから…)

父の葬儀の時は自宅葬。「同行・どうぎょう(株内・墓講)」の方々に野辺送り(実際は墓までではなく霊柩車まで)の四本幡や松明、杖、団子、四華などの準備を依頼。「しきみとり(四九日までの供え物として)」「山で芯持ちの木・枝」もお願いしました。その方たちや身内の食事も「同行」の方に自宅で作っていただきます。そして葬送の役付け。野辺送りの行列。結局は火葬場で骨になるのですが。今もやっているところは近隣ではまずないか？

この時も夏真っ盛り。それでもエアコンなし空調服なしで何とか実施できました。花屋に注文する「櫛塔」は立派でしかも安かった。十分見栄を張ることもできました。

葬儀のお手伝いの「同行」の方はいわば葬儀委員。自宅葬はかなり無理のある時代ではあります。が、地域のつながりを感じました。今回も葬儀場での受付などをお願いしました。「近所の人々が亡くなった」で仕事を休むのはなかなか理解を得られない。そこを休んでいただく関係性も凄いつながりだと感じています。「いい」ととらえるか「馬鹿らしい」ととらえるか。

以上、ダメージを紛らわせるための儀式でした。昔は自然とも密接に関係していたような気がします…。(今住 8 月 16 日作成)

定期活動・定期総会 ★7 月 11 日(土) 午前 観察 午後 定期総会(西谷夢プラザ)

この日は事情で参加できず。午後の総会もしかり。総会に代表が出席せんとは何事か？大変申し訳なく大変ご迷惑をおかけしました。

機材も用意できなかったのも、竹筒カウントのみ。数は…報告していただいたようなのですがちょっと見当たらない。で、今回のレポートはなし！「西部戦線異状なし」(古すぎる…でも深い)でご勘弁願います。

2026 年度定期総会

会員総数 36 名 出席 14 名 委任 14 名 欠席(委任なし) 8 名 出席・委任含め過半数を超えていましたので、総会は成立。議案はすべて承認されました。

連絡の取れない方 2 名が除籍となっています。ご承知ください。



午後の総会は副代表二人の進行で無事終了しています。「シャンシャン総会で乗り切ってください」と伝えたのですが、結構意見が出たようです。内容についてはまだ整理できていません。しばらくお待ちください。決して都合が悪いことを隠そうとしているわけではありません。特に隠ぺいすることもないので…経費は明瞭です。

定期活動 ★7月26日(日) 作業?下見? 6名で活動

サギソウ開花数調査の「地ならし」作業をと考えていたのですが、暑いではありませんか。一応刈払い機や鎌などを携え向かいます。

真っ赤なツチアケビ(土木通)が迎えてくれました。花ばかりだったのに今や実ばかり。やはり葉がない分インパクトは強い。しかし何年たっても元気な株です。今や名物。前に鳥居を立てて「幸運の赤い実」で売り出し(物販ではないよ)てもいいかも。「実」を持って帰る人が出る可能性ありですな…バチが当たります。季節限定で。でないと立小便禁止と間違われます。

間違いなく奇妙なもの。奇妙なものにはご利益があると考えられることが多い。真面目に「聖域」と「鳥居」考えますか?「幸運の竹筒ポスト」も意外に取り上げられています。「誰か」が困った謎の赤いテープを結界に…。



膨らんだ ツチアケビの実

雨が降りません。梅雨はちゃんとあり降ったのですが、梅雨明けが10日も早い。(7月8日)

その後全く雨なし。しかも猛暑?の毎日。西谷でもエアコンがなければ生活ができなくなっています。うちはなんとそのタイミングでエアコン故障。生活している2階の室内温度35度(14:30頃)を記録。死ぬかと思いました。高温と少雨はここ数年毎年のこと。温暖化対策はさてどうなるのやら。「自分事」と考えろと言われても、「日々の生活」にはより多くのエネルギーが必要。化石エネルギーを含め消費しなくては冗談ではなく死んでしまうことも。「1.5℃の約束」「30by30」なるものすべて虚しい絵空事です。このキーワードも知っている人はごく僅か。実現するわけがない。2030年まであと3年半となっています。議員さんでも知らんしな…分野の問題か?この分野、票にならん!

湿原に到着。緑が涼し気ですが実際は暑い。第1湿原北側のササ刈りをと考え、刈払い機を担いできたのですが「暑い」。最近では7月中にサギソウ開花が当たり前なのでとにかくサギソウ(鷺草)を探すことに。早速上手のほうに見つかりました。この時期に咲き出すと、最盛期も当然早くなると思いがちですが意外にそうでもない。統計的には、開花数は8月の20日前後が一番多いと思われます。近くで見られるかは別物です、ご了承を。この日はまだ開花が始まったばかりでした。イノシシがひっくり返した斜面がどうなるかはまだわからず。周りにしみだし水はあるものの乾燥していました。今年は無理か



まだこの時は水があった 途中歩道



サギソウ開花を確認



大株?の蕾 サギソウ



一見さわやかな草原 実は暑い湿原



ケシジュガヤ 真珠はこれから出来ます

な？ただ、ひっくり返された裸地からはミミカキグサ（耳掻き草）やケシンジュガヤ（毛真珠茅）などが生えてきていました。生分解土嚢でせき止めた場所では、生分解が起こっているのか水が抜け出しています。その近くでアギナシ（顎無し）が開花。なぜか印象的でした。付近では、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ（穂咲の耳掻き草）、ムラサキミミカキグサ（紫耳掻き草）、ミミカキグサ三種そろい踏みでした。が、感覚として今年は花の開花総数が少ないような。出現場所が限られてきている？やっぱり



ムラサキも写ってる？

水不足とシルトの供給不足が原因か？湿原は広いようで、実はどんどん縮小していると思われます。とにかく「水」がキーワード。湿原なので当たり前なのですが…。



少ないがアギナシも開花

菌従属栄養植物をもう一つ。ヒナノシャクジョウ（雛の錫杖）が咲いていました。こちらはかわいいか。やっぱり変な植物ですが…。以前必死になって探したホンゴウソウは見当たらず。これも雨不足が原因か？「ヒナノシャクジョウある所にホンゴウソウあり」の定説はなくなるかも…。観察者（動物？）の踏み固めが原因という噂もあり。ただ水分の不足が一番の要因だと私は思います。山はカラカラ、カサカサです。



開花中 ヒナノシャクジョウ

そうそう、この日は作業予定。数人が手作業で少しササ刈りを行うも、機械類はほったらかし。結局観察に明け暮れ終了となりました。あくまで暑さ対策なのかなあ…。

定期活動 ★8月8日（土） 基礎調査 サギソウ開花数調査用ライン張り 8名

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導（EC）	PH
丸山	23	34	入口				
ハイキング・登山	26	24	第3湿原	10:25	32.5【24.3】	128.8 μ S/cm	
散歩	2	5	視点場	10:35	32.6【不能】		
来場者数計 114 人 （竹筒ポスト集計）			第1湿原	10:40	33.6【23.6】	71.8 μ S/cm	5.9
			第2湿原	11:00	34.1【23.6】	76.6 μ S/cm	6.2

雨降らず。梅雨の貯金は枯渇。しかしサギソウはかなり開花が進んでいるようです。湿生植物なのである程度の湿り気さえあれば十分暮らせるのか？毎年「今日ぐらいが開花のピークとちゃう？」「開花数調査の時は終わってるわ」との会話があります。

本当はよくわからない。毎日開花を確認に来ていればわかるかもしれませんが…。ま～お盆前後



ヒラタアブが写り込んでいます

がピークかと思われます。お盆真っ最中の調査はなかなか難しい。そこで年によって諸事情で変わりますが、8月20日前後の土曜日から日曜日に設定しています。ただ、近年とても暑い。大々的に宣伝してチラシ作って参加募集した時もありましたが、体調不良や途中離脱の方もいたりするので「そっと告知」形態に変えています。「もっと宣伝して観光資源に！」という意見もあるとかないとか…。エコツーリズムをもう少し真剣に考えるほうがいいと思います。そのためにはガイドなんです。ガイドできる人を増やしてエコツー

リズムにつなげる。意見ですが。

スタート地点に戻ります。またまたツチアケビ。順調に萎びてきています。大量の実。実を食べ種を運ぶのは鳥類（ヒヨドリ・シロハラなど）と言われています。またタヌキやテンも？と研究が進んでいるとか。テンの糞はよく見かけます。確かに種がいっぱい。ウンコ好きの皆さんはぜひ種からツチアケビが出るかご確認を！といってもナラタケにうまく寄生できないと花は咲かないのか？。盆栽とセットは？飾れんな…。

いやいや特にツチアケビが好きなわけではなく、むしろ嫌いな部類。あくまで「名物」としてのお話です。



かなりしぼんだツチアケビ



赤いリボンがお似合いの 伝説解説

赤いリボンが。というより、垂れてぶら下がっているのを見るに見かねた誰かが修復？してくれましたようです。ありがとうございます！どなたでしょう？「♪会員に聞いても♪わからない♪わんわんわわん（〜♪）」とバカなことを言っても仕方がない。「敬虔なマルヤマ教信者」がいるのかも。なんせ「幸運」が訪れるかもしれない「伝説の竹筒ポスト」ですから。

単純に赤いリボンで吊ると目立つということも学びました。なんで今まで思いつかなかったのか不思議。吊ったパウチの中には水が…。しかしにじみなど全くなし。「奇跡のパウチ」か、それとも「マルヤマ教」のご加護か？

さて湿原です。第3湿原木道脇でサギソウを確認し、さらに倒れこんでいるミズギボウシ（水擬宝珠）も。つぼみが「擬宝珠（橋などの手すり柱についているカバー）」に似ていることからついた名前だそうです。ただし、橋や神社仏閣の手すりはギボシと読み、植物の名前はギボウシだそうです。なんか全部ギボウシと言っていたような。…「宝珠（ほうじゅ）」に似るから「擬宝珠」なんですけど今回はややこしいのでここまで。



木道に倒れこんだミズギボウシ

作業はラインを張るポイントの確認。第1湿原を9つのブロックに。青のラインで張っていきます。



サギソウのお花畑に戯れる少女と見守り？

確認しながら張っていきました。ポイントの消失などで意外に時間がかかりお昼に。8月22日（土）の開花数調査まではかなりの日にちあり。若干の見苦しさはありますがご勘弁ください。

8月22日（土）丸山湿原 10:00 駐車場集合です。申し込み必要なし！無料。もしよかったらお越しください。これ見る頃は終わっているよな…。**23日（日）の活動は中止！**

※8月26日（水）『いのちをつなぐオオサンショウウオ観察学習会』共催しています！

18:30~20:30・場所：西谷会館屋内活動室 連絡遅くなりました。ぜひお越しください。

次回活動日 8月22日（土）（開花数調査）9月12日（土）27日（日）10月10日（土）25日（日）



少雨傾向は続く 水はぼなしどう？



観察ライン 黄色 湿原縁を結びます